

彦春町茜

日本文学英訳化計画

「黒島伝次・電報」

第5巻



日本文学英訳化計画

『黒島伝治：電報』

第5巻

翻訳・作画：茜町春彦

原作：黒島伝治

概要：黒島伝治の短編小説を翻訳し、絵本にしました。全5巻です。何か所か、難しい漢字を平易な漢字もしくは仮名に改めました。

A Project for English Translation of Japanese Literature

Title : "A telegram" vol.5

Translated and illustrated by : Akanemachi Haruhiko

Original author : Kuroshima Denji



At lunch time, Okino looked at his gloomy and nervous face.
And she asked, "Do you have a headache today?"

He kept silent and didn't answer.

昼飯の時、

「今日は頭でも痛いんかいの。」と、おきのは彼の憂鬱に硬ばっている顔色を見て訊ねた。
彼は黙って何とも答えなかった。



After the lunch, they went together to their field.

Then, Okino said to Gensaku, "We are poor. But we are going to send our son to school in the city. So, people talk about this all over the village. It would be better not to let him to take the exam."

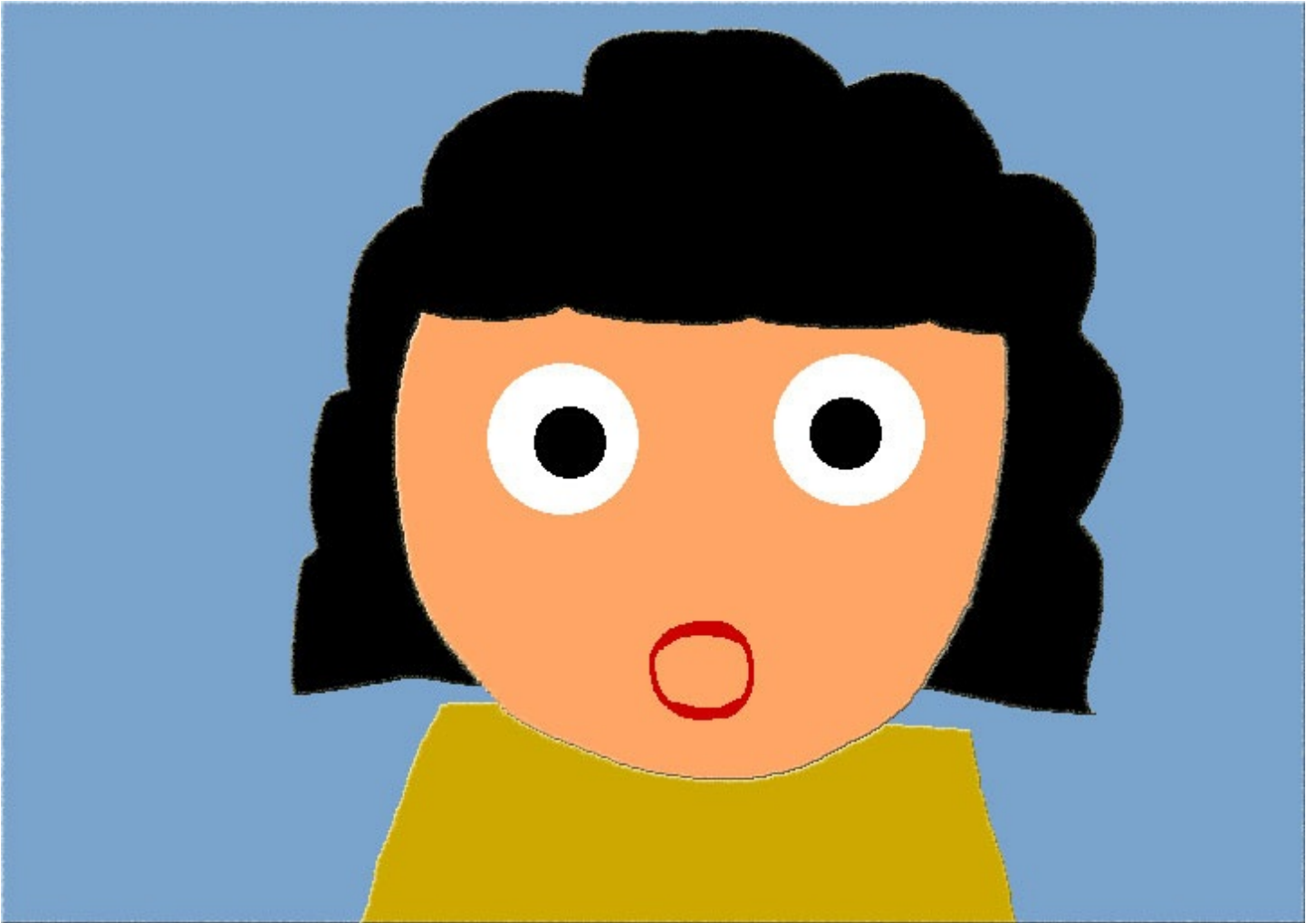
飯がすんで、二人づれで畠へ行ってから、おきのは、

「家のような貧乏たれに、市の学校やかいへやるせに、村中大評判じゃ。始めっからやらなんだらよかったのに。」と源作に云った。



Gensaku was thinking about something.

源作は何事か考えていた。



"If he fails the exam of the prefectural school, we don't need to send him to private school anymore. We had better call back him right now."

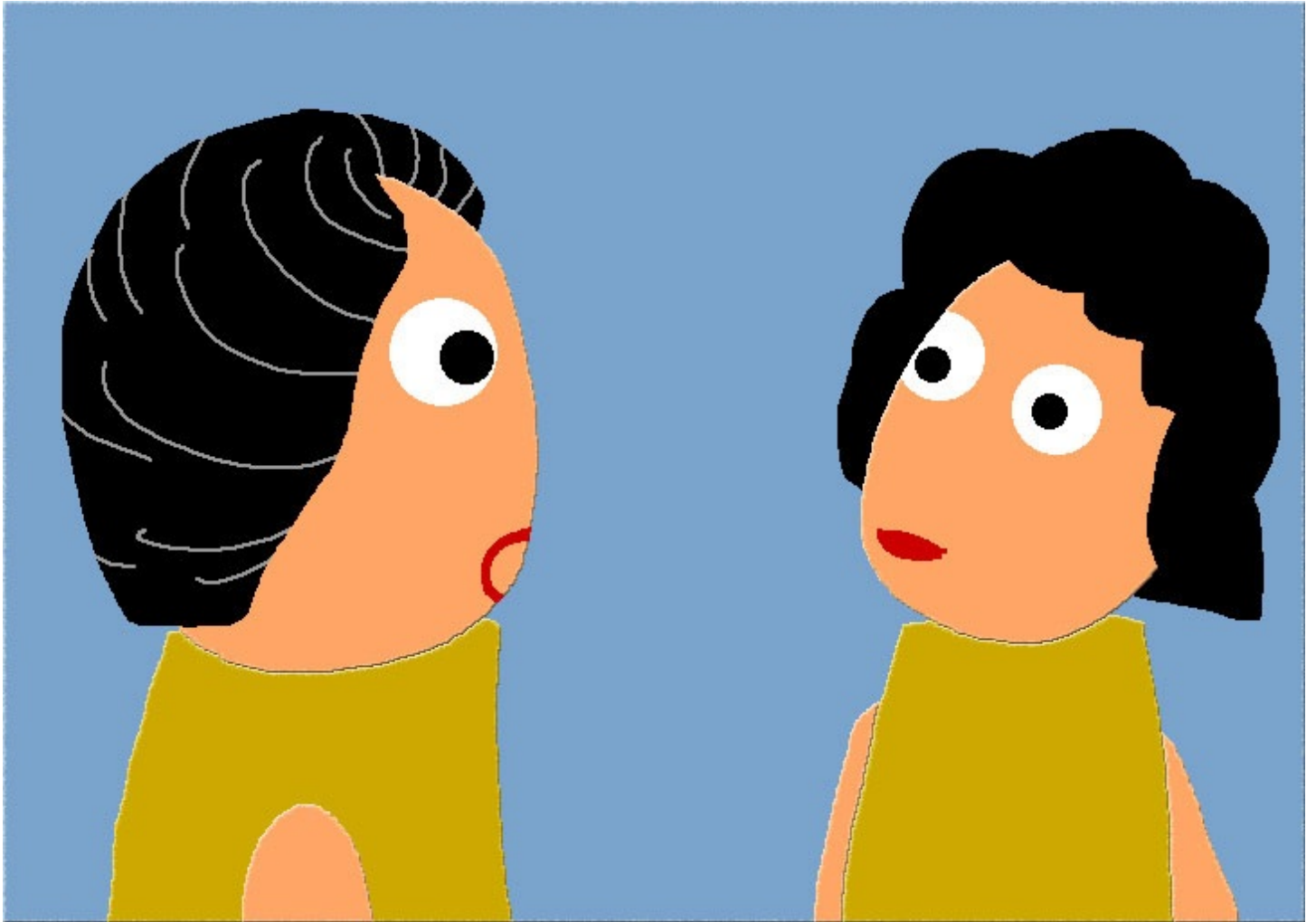
"Um."

"We should know our place. Even if he passes the exam, it would be better not to send him to school" Okino talked to herself.

「もう県立へ通らなったら、私立へはやるまいな。早よ呼び戻したらえいわ。」

「ふむ。」

「分に過ぎるせに、通っとっても、やらん方がえいじゃけれど・・・」とおきのは独言った。



After a while, Gensaku said "Well, I will call back him. OK?"

"Sure!" Okino immediately agree with him.

しばらくして、

「そんなら、呼び戻そうか。」と源作は云った。

「そうすりゃえいわ。」おきのはすぐ同意した。



Gensaku stopped the work in the field and went to a post office to send a telegram.

源作は畠仕事を途中でやめて、郵便局へ電報を打ちに行った。



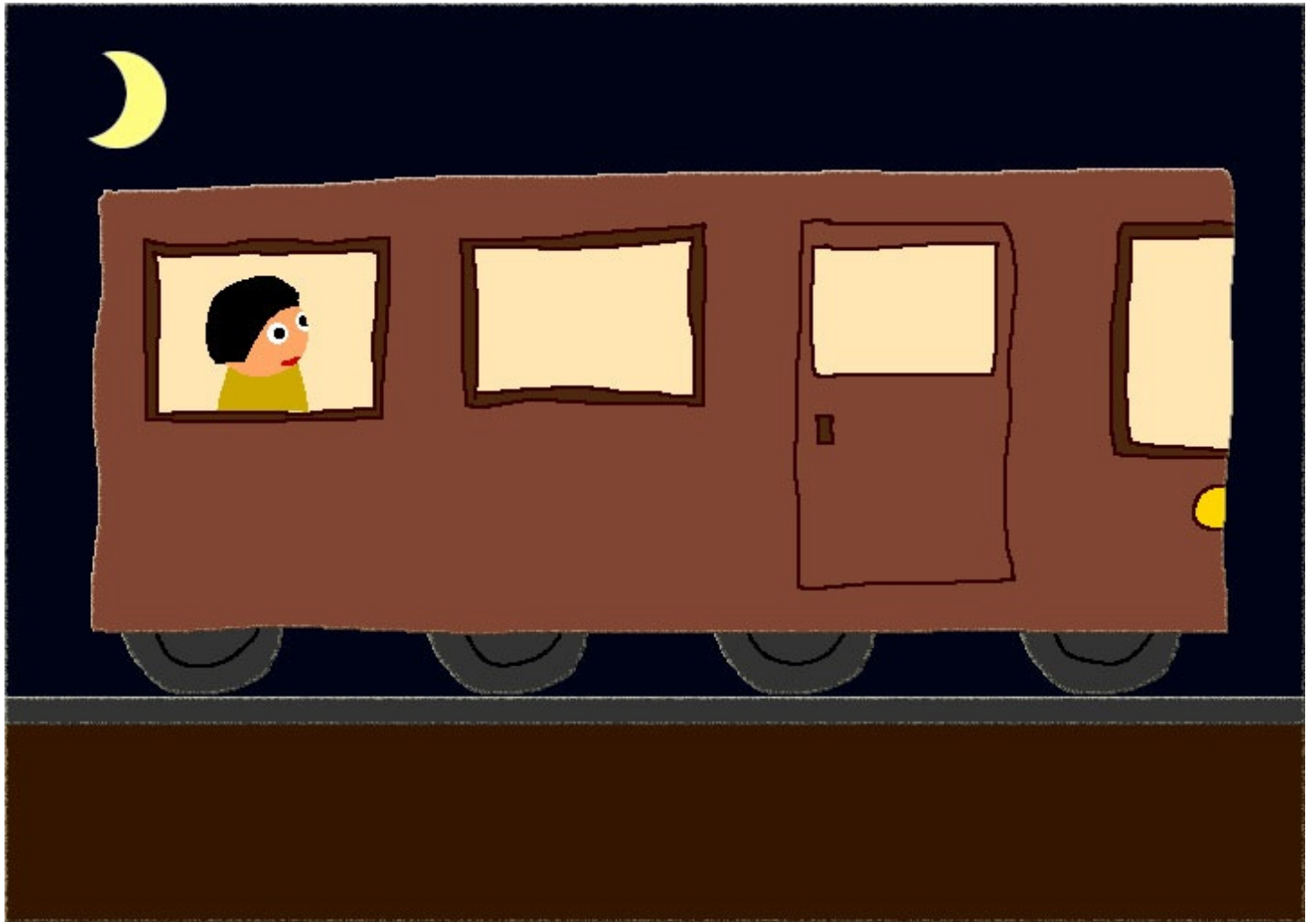
"UR DAD SICK. RETURN ASAP."
He abruptly wrote like this and sent it.

「チチビヨウキスグカエレ」
いきなりこう書いて出した.



On his way home, he felt relieved.

帰りには、彼は、何か重荷を下ろしたようで胸がすっとした。



The son surprisedly got on the 23:00 train and came home hastily.

息子は、びっくりして十一時の夜汽車であわてて帰って来た。



Three days later, they received a letter of the acceptance for the prefectural junior high school. They didn't allow him to go to school.

Their son is now working at a soy-sauce factory as an apprentice.

三日たって、県立中学に合格したという通知が来たが、入学させなかった。

息子は、今、醤油屋の小僧にやられている。

《了》

後書き

黒島伝治について：

二十世紀前半に活躍した小説家です。

1943年没

参考文献：

次の文献を参考にしました。

- 橈／豚群：2017年8月9日第1刷発行 黒島伝治著 講談社文芸文庫
- 新コンサイス和英辞典〈革装〉第3刷：昭和50年9月15日第1刷発行 株式会社三省堂
- ジーニアス英和辞典 第5版：2014年12月25日第1刷発行 株式会社大修館書店
- 総合英語Forest(7th Edition)：2014年2月20日第7版第4刷発行 石黒昭博監修 株式会社桐原書店
- Longman Dictionary of Contemporary English: Sixth edition 2014 Pearson Education Limited
- Longman Thesaurus of American English: First published 2013 Pearson Education Limited
- Longman Study Dictionary of American English: Second edition 2011 Pearson Education Limited

CG画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 3 Studio Pro アンビエント社
- Photoshop Elements 10 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- YouTube （動画共有サイト）
- Google+ （ソーシャルネットワークサービス）
- 楽天Kobo電子書籍ストア （ネットショッピングサイト）
- はてなブログ （WEBLOGサービス）
- Facebook ページ （ソーシャルネットワークサービス）

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2017年11月13日発行

日本文学英訳化計画『黒島伝治：電報』第5巻

<http://p.booklog.jp/book/118517>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/118517>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト